(案)

令和7年度 大阪市障がい者等基礎調査 精神科病院入院者を対象とした調査について

1. 調査目的

「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」の策定にあたり、障がい者地域移行の促進などに向け、障がい者のニーズを把握するとともに、障がい福祉サービスなどの計画的な基盤整備を進めるための基礎調査資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象

大阪府下の精神科病院において、入院前の住所が大阪市内であり、調査時点で入院中の18歳以上の方

3. 調査期間

令和7年11月～12月（大阪市障がい者等基礎調査と同時実施）

4. 調査実施方法

(1) アンケート送付数及び対象病院

	変更前	変更後
調査依頼数	1,500人	180人 ※
目標回収見込み	300人分	100人分
対象病院数	12病院	15病院
考え方	<ul style="list-style-type: none"> 初めての取り組みであり、病院への説明を丁寧に行うため、病院数を絞る 目標回収率を20%とし、300人分の回収をめざす 入院者数の多い病院から選定 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の精度を高めるには、病院スタッフによる記載支援が必要なため、調査依頼数をさらに絞る 調査結果において一定の信頼性を確保するために100人分の回収をめざす 100人分の調査票を回収するため、大精協役員病院である13病院に10人分の調査を依頼する 公的医療機関として一定の役割を果たしていただくために2病院を追加依頼する 100人分の回収を確保するため、ワーキング会議メンバーの3病院には20人分を依頼する

※【各病院における調査対象者抽出の考え方（案）】

①入院前の住所地が大阪市である入院者をデータ等により並べる（カルテ順など、病院の管理手法に準ずる）

②データ等により並べた一覧から「入院者数÷依頼数-1」（小数点以下切り捨て）で算出した「抽出間隔」により調査対象者を抽出する

（抽出間隔が「0」の場合は一覧の冒頭から連続抽出）

（例）入院者数55人、依頼数10人分の場合

$55 \div 10 - 1 = 4.5 \Rightarrow$ 抽出間隔は「4」 $\Rightarrow$ 一覧の冒頭から4人の間隔を置いて抽出 $\Rightarrow$ 1番目、6番目、11番目、…の方が調査対象者

(2) 送付・回収方法

- ・病院へ一括で郵送（依頼書・アンケート） ※対象医療機関へは事前説明予定
- ・回答については、病院でとりまとめて提出

(3) 調査項目

別添参照

参考

調査対象病院及び依頼数

	対象病院	依頼数
大 阪 精 神 科 病 院 協 会	ねや川サナトリウム	10人
	浜寺病院	10人
	七山病院	10人
	さわ病院	20人
	茨木病院	10人
	榎坂病院	20人
	大阪さやま病院	10人
	新阿武山病院	10人
	新生会病院	10人
	京阪病院	10人
	丹比荘病院	10人
公 病 的 病 院	金岡中央病院	10人
	久米田病院	10人
公 病 的 病 院	大阪精神医療センター	20人
	大阪市立総合医療センター	10人
	計	180人